



皆でおぢばに帰り

教祖にお喜びいただく

教祖誕生祭4・18

天理教婦人会第107回総会4・19

今月18日、おぢばで教祖誕生祭が勤められ、翌19日には天理教婦人会第107回総会が開催される。三年千日の年祭活動“仕上げの年”となる本年、大教会の今年の活動目標「喜びと挑戦」を胸に、ぜひ誘い合っておぢばに帰らせていただく。

寛政10年4月18日にお生まれになった、教祖の227回目のご誕生日をお祝いして、今年も本部で教祖誕生祭が勤められる。

午前10時から祭典が勤められ、祭典後には本部中庭において、恒例の「よここびの大合唱」が行われる。年祭活動仕上げの年であ



発行 天理教本愛大教会

〒453-0821
名古屋市中村区大宮町1-60
TEL (052) 461-4326
MAIL mail@hon-ai.org
〒632-0071
奈良県天理市田井庄町19-1
TEL (0743) 62-0378
編集責任 広報部

年間活動目標

今日を陽気に。
つながる、
つなげる。

り、積極的なおぢばがえりが推進されているこの旬に、皆でおぢばへ帰り、ともに教祖のご誕生日をお祝いさせていただく。

翌日には、本部中庭を中心に、婦人会総会が開催される。当日は午前8時から受付が開始され、総会式典は9時30分から行われる。

式典後には婦人会員全員でおつとめを勤め、引き続き婦人会各支部で「支部の集い」が催される。本愛支部では、式典後、本部西境内地でひのきしんをつとめ

うちわけ会おぢばがえり
信仰の喜び、おたすけの喜びを教祖のもとへ

強化月間 立教188年6月及び11月



る(雨天の場合は中止)。

また、天理教婦人会では、3月1日から4月30日までを別席強調月間として、現在別席者の丹精に力を注いでいる。

親神様の御恩に報い、存命の教祖にお喜びいただけるよう、この機会に周囲の方をおぢばへ誘い、別席を運んでいただけるように働きかけていきたい。

4月のこよみ

入社祭

1日 午前10時

よふき会例会

2日 午前10時

こども食堂MOGU

3日 午後5時

月次祭

13日 午前10時

青年会例会

13日 午前10時

布教実修所

14日 午前10時

むつみ会例会

16日 午前10時

教祖誕生祭

18日 午前10時

天理教婦人会第107回総会

19日 午前9時30分

鼓笛練習日

20日 午前10時

本部月次祭

26日 午前9時

女子青年例会

27日 午前10時

全教一斉ひのきしんデー

29日

現代に生かす

「用木の道」

文・安藤吉人



やってくださるよう
にまでなりました。

その言葉がとても

嬉しく、まずはぜひ

一度本愛大教会にお

越しいただきたいと

思ったのですが、そ

の方のお住まいの地域はか

なり遠方であり、また周辺

に本愛の系統の教会もなか

ったことから、地図上で探

した教会の一つをご紹介します

ことにしました。

その教会には私の知り合

いの知り合いがおり、「こう

いう事情で紹介してもい

いでしょうか」と問いわ

せたところ、快く受け入れ

てくださいました。

「自ら運ばな、あかん」

その後、実際に参拝に行

かれたという話も聞かせて

もらい、安堵していたので

すが、ふとこの話がある先

生にしたところ、「なぜ自分

で行かないのか」「おたすけ

を人任せにしているのではあ

かん」と、厳しくお叱りをい

たきました。

すぐに考えを改めて直接

その方のもとを訪ねようと

連絡を取ったのですが、身

上が悪化しているとのこと

で結局お会いできないまま、

数ヶ月が経ってしまいました

た。それでも、なんとか一

度でもお会いできればと思

い、その後も連絡を取り続

けていたのですが、3月に

入り、LINEで再び連絡

をしたところ、突然相手か

ら「ブロック」(着信やメッ

セージの受信を拒否するこ

と)されてしまいました。

私としてはおたすけの相

手のもとに足を運ばせてい

ただきたいという一心だっ

たのですが、「つなぐ」とい

うことの難しさ、おたすけ

の難しさをあらためて痛感

した出来事でした。

ところで、少年会本愛団

では、総会のひのきしんの

手が足りないようで、私も

何人かの人に「ひのきしん

に來れないか」と連絡をし

てみているところです。

また、間近に控えた春の

学生おぢばがえりにも、対

象となる人にはぜひ声がけ

をしてもらいたいとお願

している最中です。

声をかけることはうまく

いくこともあれば、うまく

いかないこともあります。

私も失敗と反省は多々あり

ます。けれどもそこで止ま

ってしまつては意味があり

ません。本愛の活動目標を

今一度、共に心に置いて、

日々を通していただきた

と思います。

(3月月次祭における挨拶

より)



公式サイトとYouTubeをご活用ください！

こんなに
便利



- 大教会の行事
日程を確認
- 本愛誌最新号と
バックナンバーを
ダウンロード
- その他お知らせ

楽しく
学ぶ



天理教 本愛 🔍 検索

- 祭典の様子を
ライブで視聴
- 大教会長の
連載動画
- 神殿講話の
限定配信

教理随想

言わん言えんの理を探る



陽光輝く春四月は、ご存命の教祖が二百二十七回目のお誕生日をお迎えになります。この旬に教祖にお喜び頂くには、何と

力。これがひながたを歩むということになります。一例を挙げてみましょう。教祖はひながたの初めに貧のどん底をお通りになりましたが、ここには三つの思召が込められているように思います。

第一は、物や金銭への執着を少なくすることです。私たちの周囲にある備品や道具、衣類や食品、そして金銭は、どれも生活に必要なものばかりで、大切に使う努力が求められます。しかしその意識が過剰になり、自己中心的になつて心に執着が生まれると、人に迷惑をかけたり心のほこりを積ませたり、あるいは自らが悪因縁の淵に迷い込んで、陽気ぐらしから遠ざかることになります。

教祖は、私たちが物やお金を使うという行為を通して、人と人が円満につながる姿を望んでおられるのです。この点を心に置き、執着心を払いながらバランスよく活用したいものです。

第二は、今自分に与えられている状況を喜ぶことです。貧のどん底を通られているある日、教祖はこんな様に次のように仰せになりました。「世界には、枕もとに食物を山ほど積んでも、食べるに食べられず、水も喉を越さんというて、苦しんでいる人もある。そのことを思えば、わしらは結構や、水を飲めば水の味がする。親神様が結構にお与え下されてある」。

ひながたを歩むとは、教祖の足跡をそのまま真似をすることではなく、まず一つ一つのご事歴に込められた親心を深く思案し、理解することです。

その上でひながたを規範として、日頃の心の持ち方と暮らし方をふり返り、もしずれているところがあれば規範に沿って正していく努

第三は、相手の立場に立つて物事を考える姿勢です。教祖は、「貧に落ち切れ。貧に落ち切らねば、難儀なる者の味が分からん」と仰せになりました。このお言葉から悟れるのは、いついかなる場合も相手の立場に立つて自分の言動を考える接し方で、相手が難儀不自由しているのなら尚更のことです。これが生き方の基

中でも「かりもの」と教えられる人間の体は、内臓の動きをはじめ、血液の循環、呼吸、神経など、どれも自分の意思とは無関係に機能しています。これが最も身近な親神様の働きであり、このご守護に感謝する心がひながたの核心です。

本で、陽気ぐらしへの道であることを教えられているのではないのでしょうか。また家族や周囲に教えを伝える時もこの接し方は重要です。最初から教えを大上段に振りかざして諭したり、正論を説くだけでは教えは伝わりません。まず相手の立場に立つて、悩みや苦しみを共感しようとする態度が何より大切です。

■悩みを共感する

このように、ひながたから悟れる三つの要点は、何かが起きた時にだけ実行するのではひながたを歩むことになりません。常日頃の生活にできる限り浸透させていく努力が肝要です。その誠実に親神様の不思議な働きが現れて、家族をはじめ人と人とのつながりが円満になり、陽気ぐらしの輪が広がっていくのです。

教祖にご安心いただけるよう、ひながたを日常生活に溶け込ませて、陽気な心で歩んでいきましよう。

第三は、相手の立場に立つて物事を考える姿勢です。教祖は、「貧に落ち切れ。貧に落ち切らねば、難儀なる者の味が分からん」と仰せになりました。このお言葉から悟れるのは、いついかなる場合も相手の立場に立つて自分の言動を考える接し方で、相手が難儀不自由しているのなら尚更のことです。これが生き方の基

中でも「かりもの」と教えられる人間の体は、内臓の動きをはじめ、血液の循環、呼吸、神経など、どれも自分の意思とは無関係に機能しています。これが最も身近な親神様の働きであり、このご守護に感謝する心がひながたの核心です。

本で、陽気ぐらしへの道であることを教えられているのではないのでしょうか。また家族や周囲に教えを伝える時もこの接し方は重要です。最初から教えを大上段に振りかざして諭したり、正論を説くだけでは教えは伝わりません。まず相手の立場に立つて、悩みや苦しみを共感しようとする態度が何より大切です。

【第123回】

ひながたを日常に浸透させ、 円満なつながりを広めよう

本で、陽気ぐらしへの道であることを教えられているのではないのでしょうか。また家族や周囲に教えを伝える時もこの接し方は重要です。最初から教えを大上段に振りかざして諭したり、正論を説くだけでは教えは伝わりません。まず相手の立場に立つて、悩みや苦しみを共感しようとする態度が何より大切です。

このように、ひながたから悟れる三つの要点は、何かが起きた時にだけ実行するのではひながたを歩むことになりません。常日頃の生活にできる限り浸透させていく努力が肝要です。その誠実に親神様の不思議な働きが現れて、家族をはじめ人と人とのつながりが円満になり、陽気ぐらしの輪が広がっていくのです。

第149回教会長資格検定
講習会修了者
（令和7年3月19日付）
中村侑生（本誠愛）
第149回教会長資格検定
合格者
（令和7年3月20日付）
中村侑生（本誠愛）
2月のおさづけの理拝戴者
鈴木教眞（直轄）
鈴木啓修（直轄）
本土佐分教会二代会長
佐藤日出男之霊の十年祭
本土佐分教会二代会長夫人
佐藤鈴江之霊の十年祭
本土佐分教会では3月23
日午前10時半より、二代会
長・佐藤日出男之霊の十年
祭並びに、二代会長夫人・
佐藤鈴江之霊の十年祭が同
分教会で行われた。

お出直し
門田茂氏（大教会役員・本
理愛分教会三代会長）
3月19日に出直された。

5月24～25日
ほんあいKidsキャンプ
@国立乗鞍青少年交流の家（岐阜県高山市）
申込み期限 5月1日
右記QRコードよりお申し込みください

享年70歳。告別式は3月22
日午前10時より、大教会長
を斎主として執り行われ
た。

大教会日誌		令和7年2月25日～令和7年3月24日	
2月		13日	月次祭
26日	本部月次祭		祭主 大教会長 扨者 都築隆道、松浦道太郎
28日	常任役員会議◇役員会議		指図方 大橋進 賛者 安井篤、中島裕信
3月			◇祭典講話—伊藤寿輝
1日	入社祭		◇大教会長挨拶
	祭主 大教会長 扨者 和光重男、細川明		青年会例会
	指図方 青木健裕 賛者 桑子彰、出口順一郎	14日	布教実修所
	春季霊祭	16日	むつみ会例会
	祭主 大教会長 扨者 大橋進、杉村善男	17日	こども食堂MOGU
	指図方 安藤正二郎 賛者 出口邦郎、久保眞樹	20日	婦人会例会
2日	よふき会例会	23日	少年会本愛団第55回総会
12日	常任役員会議		女子青年例会